

施設カルテ

施設番号	153	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
施設基本情報					
施設名	浮田分団機庫(上道北方)				
所在地(住所)	東区上道北方1483-000-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	上道		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	上道中学校	小学校区	浮田小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	32.17 m ²		
目的外使用	無	建築面積	32.17 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²		

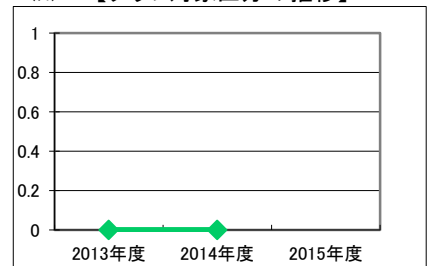


施設概要	消防施設 分団機庫										
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する										
設置根拠	消防法、消防組織法										
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %						
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台						
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし			
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域		
	冷暖房設備	×		階段	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域	地震・液状化危険度	高い		
	通信設備	×		昇降機	×	地震・液状化危険度	高い	土砂災害計画区域等	指定なし		
	調理設備	×		その他省エネ	×	便所	×	開設年月日	2001/11/26	供用廃止日	—
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	開設年月日	2001/11/26	供用廃止日	—
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	2001/11/26	供用廃止日	—	—	

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	153	施設名	浮田分回機庫(上道北方)
------	-----	-----	--------------

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		6	15	15	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	4	6	5
		ガス	0	0	0
		水道	3	9	10
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

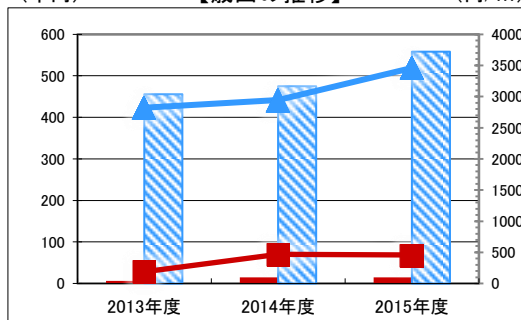
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 訳 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

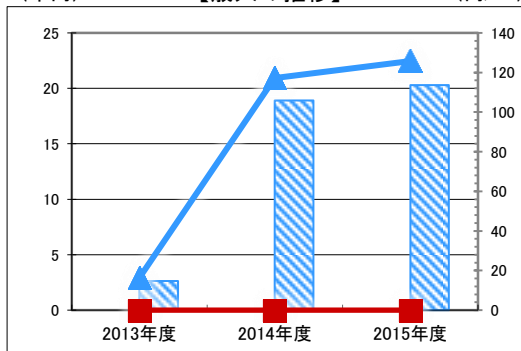
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	6 第166位	189	第151位
2014年度	15 第125位	469	第97位
2015年度	15 第128位	457	第92位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

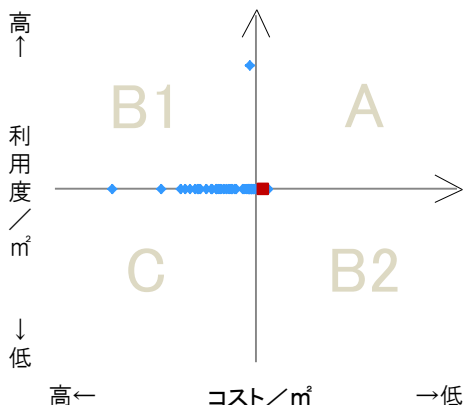
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	154	施設名	吉備 第3分団(撫川)機庫
------	-----	-----	---------------

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		35	67	22	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	27	10	11
		ガス	0	0	0
		水道	9	9	10
修繕費	-	48	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

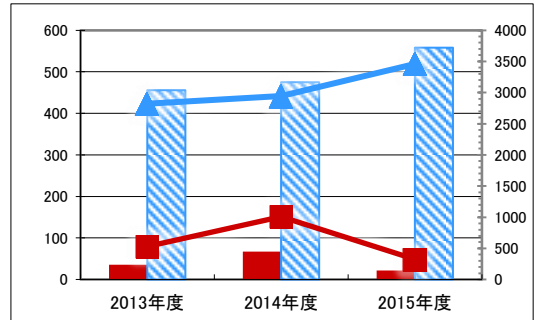
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

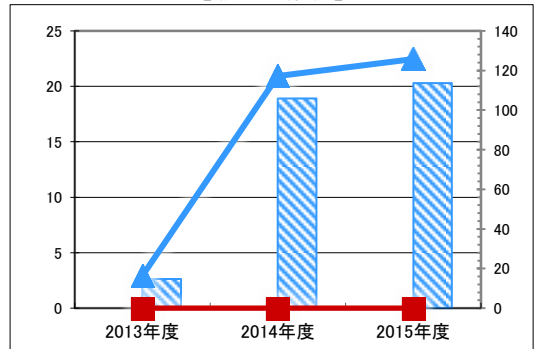
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	35	第50位	532
2014年度	67	第32位	1,006
2015年度	22	第94位	325
		第124位	

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

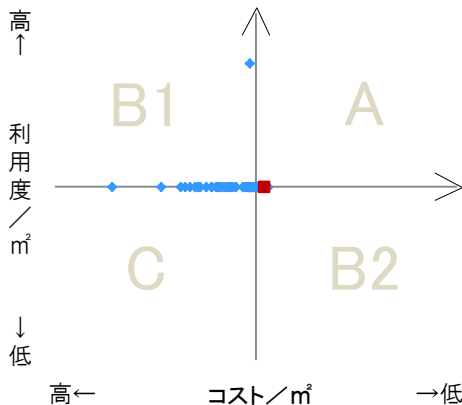
特記事項

施設メモ	
------	--

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 155 基準日 2015/04/01 出力日 2017/03/09

施設基本情報

施設名	操陽 分団機庫		
所在地(住所)	中区倉富0160-001-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地区	中区本庁管轄区域
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	操南中学校	小学校区	操南小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	66.56 m ²
目的外使用	無	建築面積	33.28 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	123.77 m ²



施設概要 消防施設 分団機庫

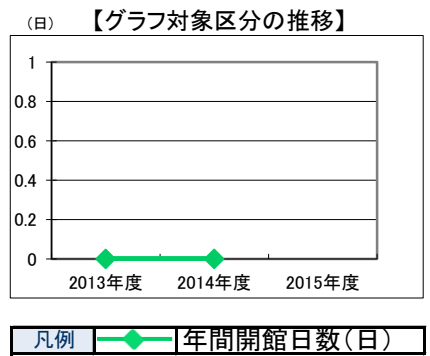
設置目的 火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する

設置根拠 消防法、消防組織法

用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	出入口	×	ハザードマップ指定	
	災害用備蓄の有無	×	廊下等	×	洪水時の浸水深	1.0~2.0m未満
	冷暖房設備	○	階段	×	津波時の浸水深	0.01~0.3m未満
	通信設備	×	昇降機	×	地震・危険度	建物全壊率が5~7%の地域
	調理設備	×	便所	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	入浴設備	×	駐車場	×	地震・液状化危険度	極めて低い
	代替電源設備	×	開設年月日	2003/03/18	土砂災害計画区域等	指定なし
			環境配慮			
			自然エネルギー・太陽光	×		
			屋上緑化・壁面緑化	×		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 155 施設名 操陽 分回機庫

財務情報

●歳出

区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		55	25	25	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	46	17	17
		ガス	0	0	0
		水道	8	9	7
修繕費	-	-	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

区分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

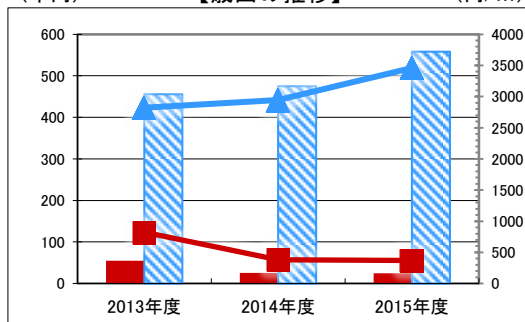
●歳入

区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	外	使用料及び手数料	-	-
外	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

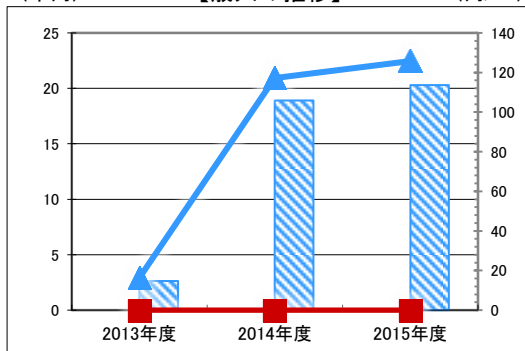
施設分類	消防施設	総施設数	195
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	55 第34位	822	第50位
2014年度	25 第95位	381	第121位
2015年度	25 第84位	370	第115位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

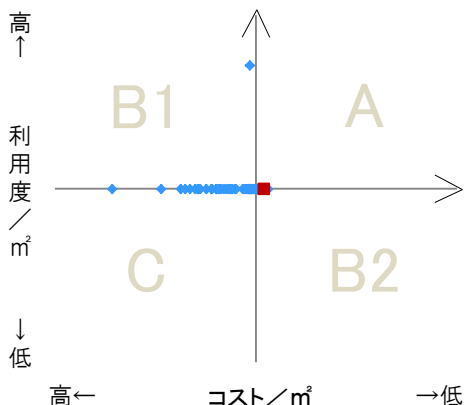
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	156	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
施設基本情報					
施設名	福田第2分団(山田)機庫				
所在地(住所)	南区山田0544-004-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	福田		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	福田中学校	小学校区	福田小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	66.56 m ²		
目的外使用	無	建築面積	33.28 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²		

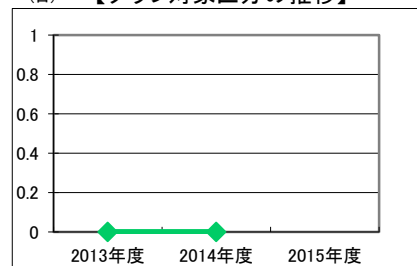


施設概要	消防施設 分団機庫							
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する							
設置根拠	消防法、消防組織法							
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %			
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	0.01~0.5m未満
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	○		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙		駐車台数	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	2003/03/12
							供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 156 施設名 福田第2分団(山田)機庫

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		4	28	24	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	4	28	24
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

区 分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

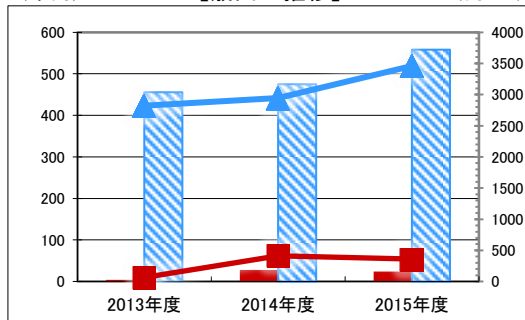
●歳入

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳入合計		0	0	0	
内 訳	指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
		目的外使用料	-	-	-
		その他	-	-	-
	直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-	

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

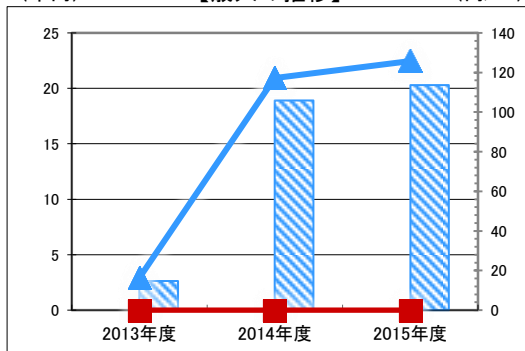
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	4 第169位	66	第171位
2014年度	28 第85位	415	第112位
2015年度	24 第86位	361	第118位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

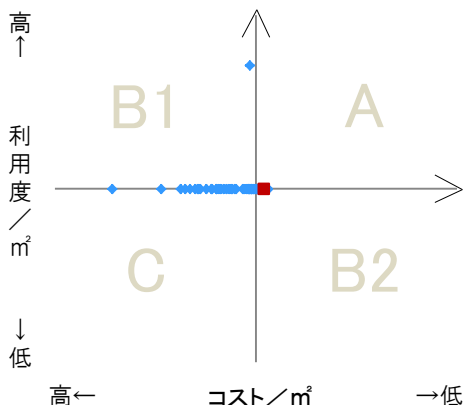
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	157	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
施設基本情報					
施設名	妹尾第三 分団機庫				
所在地(住所)	南区箕島2384-000-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	妹尾		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	妹尾中学校	小学校区	箕島小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	66.56 m ²		
目的外使用	無	建築面積	33.28 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	140.00 m ²		

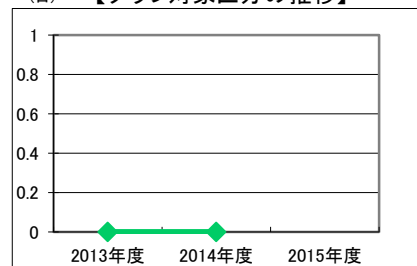


施設概要	消防施設 分団機庫					
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する					
設置根拠	消防法、消防組織法					
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光 屋上緑化・壁面緑化 設備(電気) 設備(雨水・中水) その他省エネ 分煙対策 全面禁煙 アスベストの使用	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深 津波時の浸水深 地震・危険度 地震・揺れやすさ 地震・液状化危険度 土砂災害計画区域等	指定なし
	災害用備蓄の有無	×		×		指定なし
	冷暖房設備	○		×		建物全壊率が3~5%の地域
	通信設備	×		×		震度6弱の地域
	調理設備	×		×		きわめて高い
	入浴設備	×		×		指定なし
	代替電源設備	×		無		—
	出入口	×		2005/03/10		—
	廊下等	×				
	階段	×				
昇降機	×					
便所	×					
駐車場	×					
開設年月日		2005/03/10		供用廃止日	—	

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 157 施設名 妹尾第三 分団機庫

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		8	27	50	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	8	27	27
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	23	
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

種別	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

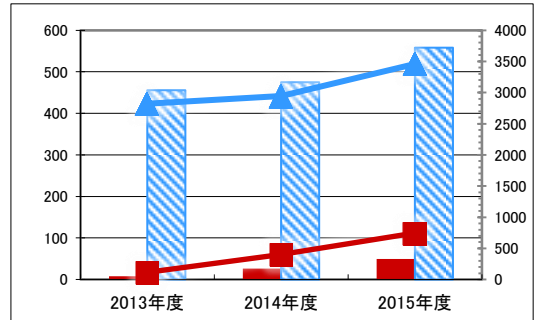
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

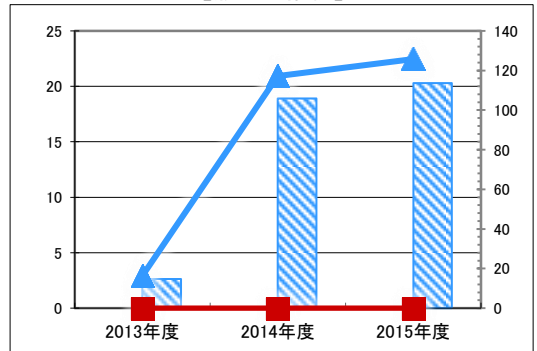
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	8 第161位	116	第168位
2014年度	27 第89位	403	第115位
2015年度	50 第38位	744	第60位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

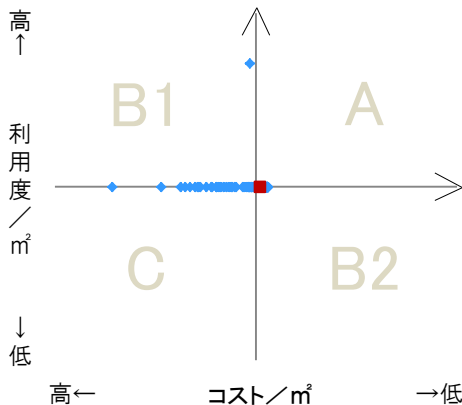
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	158	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
------	-----	-----	------------	-----	------------

施設基本情報

施設名				灘崎第1 分団(1部)	
所在地(住所)				南区灘崎町奥迫川1032-003-00	
所管局区室課				消防局消防企画総務課	
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	灘崎(本庁管轄区域)		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	灘崎中学校	小学校区	灘崎小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	52.00 m ²		
目的外使用	無	建築面積	27.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	51.61 m ²		



施設概要	消防施設 分団機庫				
------	-----------	--	--	--	--

設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する				
------	---	--	--	--	--

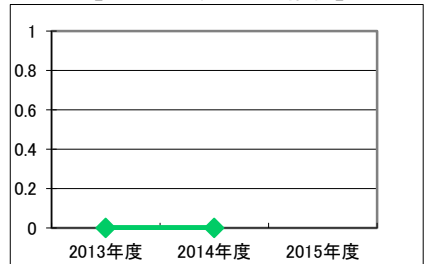
設置根拠	消防法、消防組織法				
------	-----------	--	--	--	--

用途地域	指定なし		法定容積率	100 %		法定建蔽率	50 %		
用途地域以外の指定地域	指定なし		全棟数	1 棟		駐車台数	1 台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域		
	通信設備	×		昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度5強の地域		
	調理設備	×		便所	×	地震・液状化危険度	極めて低い		
	入浴設備	×		分煙対策	全禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	1980/12/01		
						供用廃止日	—		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 158 施設名 灘崎第1 分団(1部)

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		126	26	21	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	19	10	10
		ガス	0	0	0
	水道	8	16	10	
	修繕費	99	-	-	
外 訳	役務費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

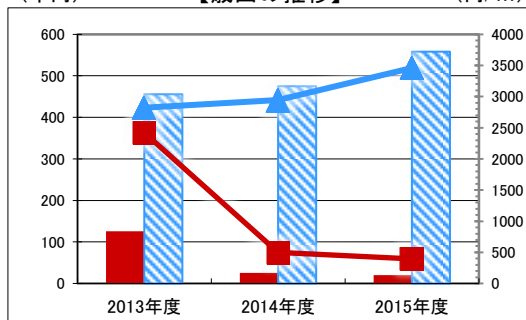
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 訳	指定管理	利用料金 (使用料)	-	-
		目的外使用料	-	-
		その他	-	-
	直営	使用料及び手数料	-	-
	目的外使用料	-	-	

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

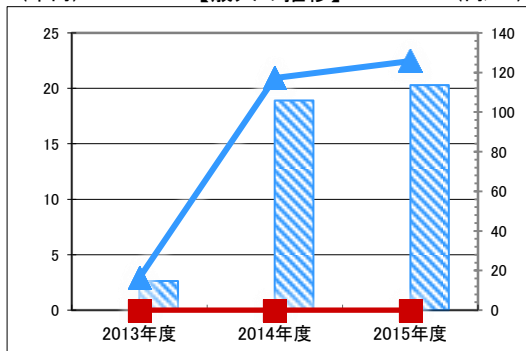
施設分類	消防施設	総施設数	195	
区 分	総額(千円)		円/㎡	
2013年度	126	第23位	2,420	第25位
2014年度	26	第93位	498	第90位
2015年度	21	第103位	396	第110位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

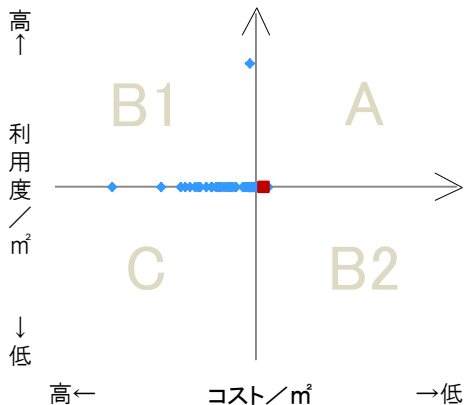
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	159	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
------	-----	-----	------------	-----	------------

施設基本情報

施設名				灘崎第1 分団(2部)	
所在地(住所)				南区灘崎町迫川0704-000-00	
所管局区室課				消防局消防企画総務課	
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	灘崎(本庁管轄区域)		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	灘崎中学校	小学校区	灘崎小学校		
複合化状況	—	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	70.60 m ²		
目的外使用	無	建築面積	49.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	70.60 m ²		



施設概要	—				
------	---	--	--	--	--

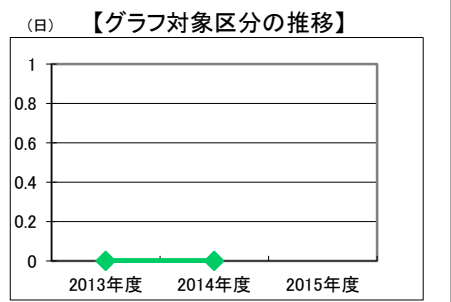
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する				
------	---	--	--	--	--

設置根拠	消防法、消防組織法				
------	-----------	--	--	--	--

用途地域	指定なし	法定容積率	100 %	法定建蔽率	50 %		
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1棟	駐車台数	1台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	—	洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	—	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×		階段	—	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
	通信設備	×		昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×		便所	—	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×		分煙対策	—	土砂災害計画区域等	警戒区域(土石流)
	代替電源設備	×		アスベストの使用	—	開設年月日	1976/02/01
						供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 159 施設名 灘崎第1 分団(2部)

財務情報

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		4	8	4	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	4	8	4
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

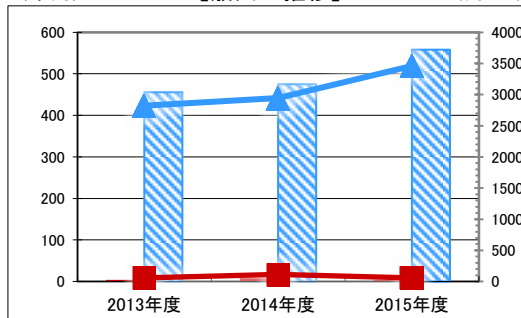
※運営人員数の人件費は理論値です。

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 訳	指定管理	利用料金 (使用料)	-	-
		目的外使用料	-	-
		その他	-	-
	直営	使用料及び手数料	-	-
	目的外使用料	-	-	

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

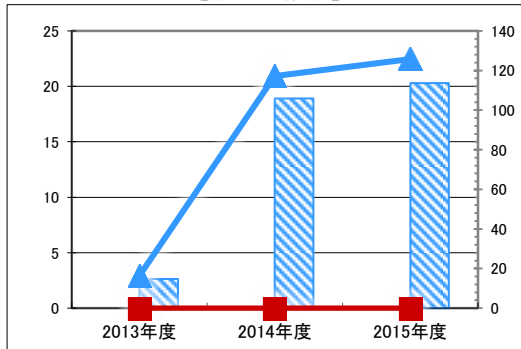
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	4 第170位	58	第173位
2014年度	8 第158位	117	第176位
2015年度	4 第166位	59	第178位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

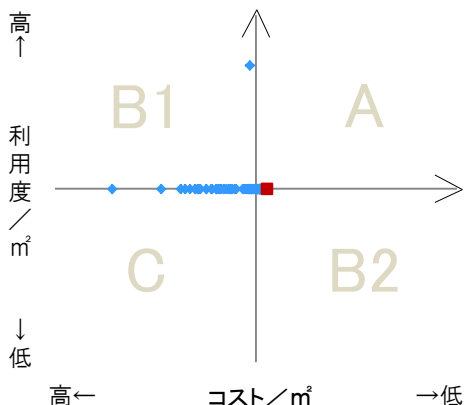
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	160	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
施設基本情報					
施設名	灘崎第1 分団(3部)				
所在地(住所)	南区灘崎町迫川0096-000-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	灘崎(本庁管轄区域)		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	灘崎中学校	小学校区	灘崎小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	76.00 m ²		
目的外使用	無	建築面積	38.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	88.54 m ²		

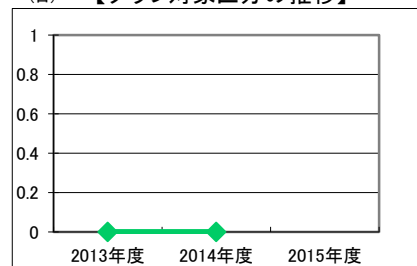


施設概要	消防施設 分団機庫					
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する					
設置根拠	消防法、消防組織法					
用途地域	準工業地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光 屋上緑化・壁面緑化 設備(電気) 設備(雨水・中水) その他省エネ 分煙対策 全面禁煙 アスベストの使用	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深 津波時の浸水深 地震・危険度 地震・揺れやすさ 地震・液状化危険度 土砂災害計画区域等	指定なし
	災害用備蓄の有無	×		×		0.01~0.3m未満
	冷暖房設備	○		×		建物全壊率が3~5%の地域
	通信設備	×		×		震度6弱の地域
	調理設備	×		×		高い
	入浴設備	×		×		指定なし
	代替電源設備	×		×		—
	出入口	×		1 棟		—
廊下等	×	—	—			
階段	×	—	—			
昇降機	×	—	—			
便所	×	—	—			
駐車場	×	—	—			
開設年月日	1984/10/01		開設年月日	1984/10/01		
供用廃止日	—		供用廃止日	—		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	160	施設名	灘崎第1 分団(3部)
------	-----	-----	-------------

財務情報

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		11	42	32	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	電気	光熱水費	3	25	22
		水道	0	0	0
	修繕費	8	17	10	
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

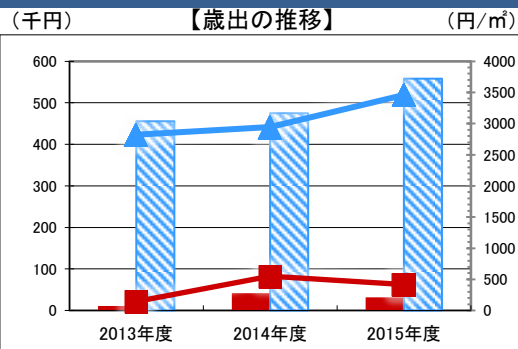
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

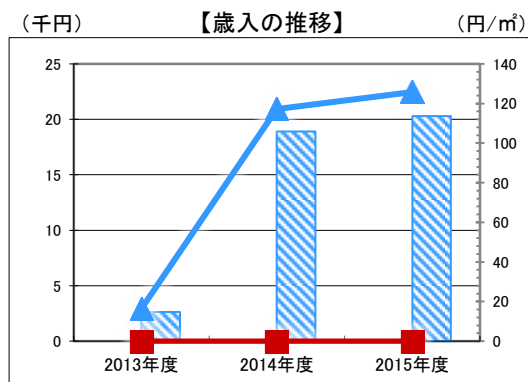
区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外	使用料及び手数料	-	-	-
外	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	11 第141位	145	第159位
2014年度	42 第46位	553	第82位
2015年度	32 第61位	420	第104位



凡 当該施設	■ 総額(千円)	—■ 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均	▨ 総額(千円)	—▲ 延床面積あたり(円/㎡)



凡 当該施設	■ 総額(千円)	—■ 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均	▨ 総額(千円)	—▲ 延床面積あたり(円/㎡)

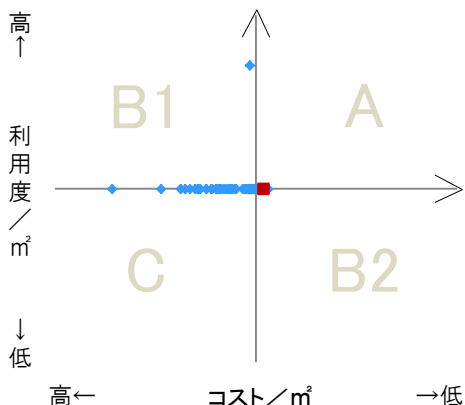
特記事項

施設メモ	
------	--

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 161 基準日 2015/04/01 出力日 2017/03/09

施設基本情報

施設名	灘崎第1 分団(4部)			
所在地(住所)	南区灘崎町宗津0780-004-00			
所管局区室課	消防局消防企画総務課			
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設	
財産中分類	公用財産	地区	灘崎(本庁管轄区域)	
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫	
中学校区	灘崎中学校	小学校区	灘崎小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設	
管理運営	直営	延床面積	65.00 m ²	
目的外使用	無	建築面積	34.00 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	213.28 m ²	

施設概要	消防施設 分団機庫		
------	-----------	--	--

設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する		
------	---	--	--

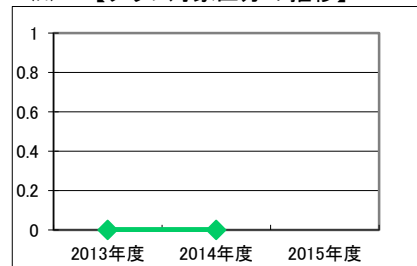
設置根拠	消防法、消防組織法		
------	-----------	--	--

用途地域	指定なし	法定容積率	100 %	法定建蔽率	50 %	
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	洪水時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×	設備(電気)	×	津波時の浸水深	指定なし
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	地震・液状化危険度	低い
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	土砂災害計画区域等	警戒区域(土石流)
			出入口	×	階段	×
			廊下等	×	昇降機	×
			エレベーター	×	便所	×
		駐車場	×	開設年月日	1986/11/20	
				供用廃止日	—	

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 161 施設名 灘崎第1 分団(4部)

財務情報

●歳出

区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		30	72	59	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	22	56	49
		ガス	0	0	0
	水道	8	16	10	
修繕費	-	-	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

区分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

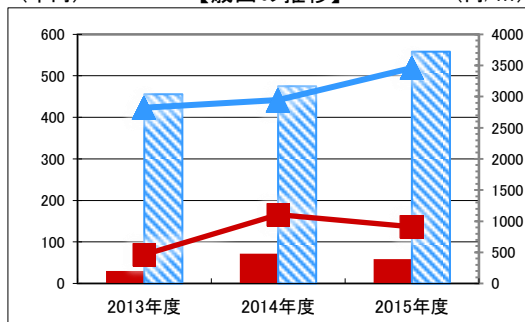
●歳入

区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外	使用料及び手数料	-	-	-
外	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

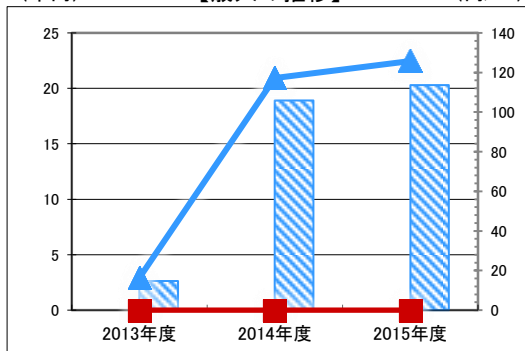
施設分類	消防施設	総施設数	195
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	30 第59位	463	第93位
2014年度	72 第31位	1,104	第42位
2015年度	59 第34位	909	第47位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

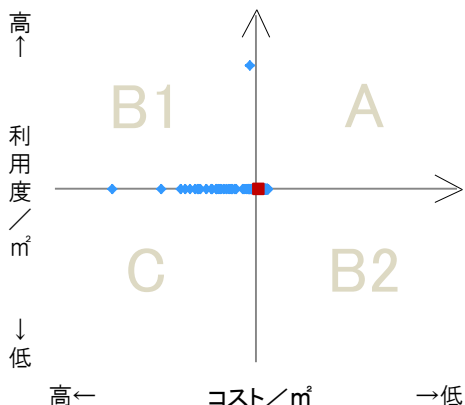
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象(分類)の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 162 基準日 2015/04/01 出力日 2017/03/09

施設基本情報

施設名	灘崎第2 分団(6部)			
所在地(住所)	南区灘崎町片岡1052-006-00			
所管局区室課	消防局消防企画総務課			
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設	
財産中分類	公用財産	地区	灘崎(本庁管轄区域)	
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫	
中学校区	灘崎中学校	小学校区	灘崎小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設	
管理運営	直営	延床面積	65.00 m ²	
目的外使用	無	建築面積	29.00 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	91.35 m ²	

施設概要	消防施設 分団機庫
------	-----------

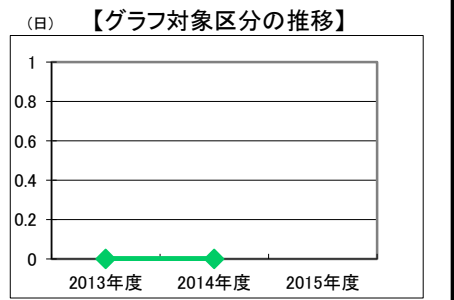
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
------	---

設置根拠	消防法、消防組織法
------	-----------

用途地域	第一種住居地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %					
用途地域以外の指定地域	地区計画	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台					
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×		津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域		
	通信設備	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		便所	×		地震・液状化危険度	低い		
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙		駐車場	×	土砂災害計画区域等	警戒区域(土石流)
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1988/11/01	供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 162 施設名 灘崎第2 分団(6部)

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		13	28	26	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	4	13	16
		ガス	0	0	0
		水道	8	16	10
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

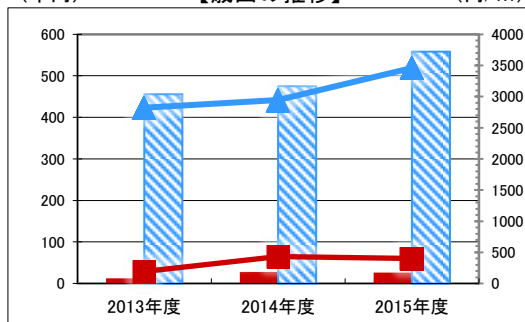
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 訳 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

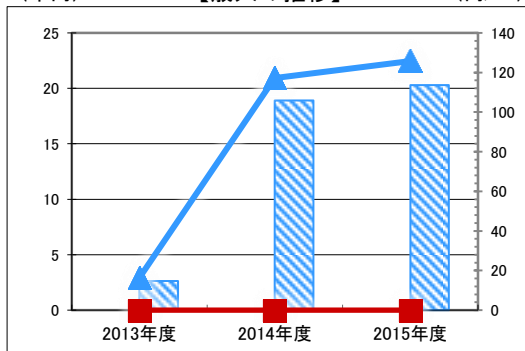
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	13 第130位	194	第149位
2014年度	28 第83位	432	第106位
2015年度	26 第74位	403	第107位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

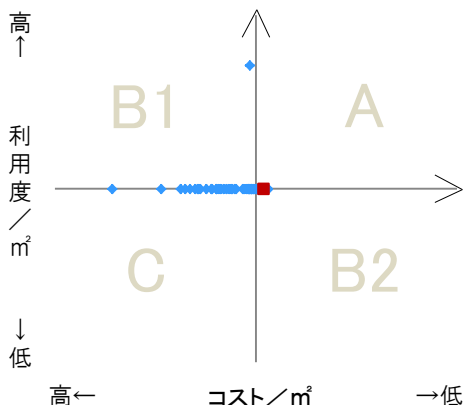
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

